

私が、
日本と
世界を
つなぐ。



2027年4月

国際日本学科

新設

(仮称・設置構想中)

※設置される学科等の名称・内容などは予定につき、
変更される場合があります。



日本と世界をつなぐ人材の育成が

「国際日本学科」の使命です。

Why? なぜ今、そういった人材が求められているのか?

現在、国内の外国人労働人材と共に日本語学習者が増え続けています。しかしながら、職場や地域コミュニティで彼らをサポートする人や日本語教員といった人材は十分ではありません。(*1) 少子高齢化に伴い今後ますます外国人労働人材の増大が見込まれる日本において、日本と世界をつなぐことができる人材の育成は非常に重要な課題となっています。また、インバウンド観光の拡大など東アジアを含む広域経済圏との連携を志向する長崎県にとっても急務の課題です。

そこで「国際日本学科」では、「世界の中の日本」という視点から日本の言語や文化を深く学び、外国語の運用能力を活かしてそれらを多文化共生社会で発信できる、つまり、日本と世界をつなぐ人材を育成します。

※1(日本語教師ナビ 文部科学省が令和5年度日本語教育の実態調査結果を発表)



[具体的な人材像]

日本と世界をつなぐ コミュニケーター

日本語および外国語の運用能力を活かし、日本の文化や社会について的確に世界へ発信できる人材



グローバル社会に おける実践者

観光・ホスピタリティ、国際ビジネスなどの現場で、異文化間で生じる課題を発見し、解決に導くことができる人材



多文化共生社会 の担い手

多様な背景を持つ人々と協働し、異文化間の対話を通じて共生のあり方を模索し、課題解決できる人材



日本語教育の 専門人材

日本語教育に携わるための専門的な知識と教育実践力を備え、多様な学習者に日本語教員として対応できる人材



Learning 学びの内容

01

[言語教育科目]

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語

02

[学部共通基礎科目]

コミュニケーションや国際関係、多文化理解！
幅広く学ぶことは専門的な探究への第一歩！

03

[国際日本学科オリジナルの学び]

◎日本文化研究プログラム
世界的視野で日本社会や文化を捉え、
多文化共生の実践力を身につける！

◎日本語専門職プログラム
国際的な学習者に教える力を備えた、
日本語教育の知見と実践力を身につける！

+

Point

学びのポイント

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、
韓国語から複数の言語を学ぶとともに
文化や歴史への理解も深めます。

学生の3人に1人は留学生のため、
授業や交流を通して多様な価値観にふれることで
対話力や多文化理解力が身につきます。

多言語！

留学生
との協働！

社会で
役立つ
学び！

日本語
教員！

海外経験！

外国語や文化を学ぶだけでなく
国際ビジネスや観光、データサイエンスなど
将来の仕事につながる
実践的な分野にもチャレンジできます。

外国人に日本語を教えるための
理論と実践をしっかり学び
国内外で活躍する
日本語教員を目指せます。

国際交流協定校への留学や短期研修、
海外インターンシップなど、海外で学び
行動する機会が充実しているので
海外経験を通して
新たな視点を持つことができます。

Future 卒業後に目指せる未来

- 日本を世界へ発信したい人は・・・
企業の観光プロモーション、インバウンド戦略担当 etc.
- 多様性を活かす職場づくりに貢献したい人は・・・
一般企業の総務部[外国人対応]、自治体の国際交流部門、
NPO・国際協力団体、外国人支援センター etc.
- グローバルな現場で活躍したい人は・・・
旅行代理店、航空会社、ホテル・旅館、観光協会、テーマパーク、
インバウンド対応企業 etc.
- 国内外で日本語を教えたい人は・・・
日本語学校、地域日本語教育コーディネーター、
海外派遣日本語教員[JICA、国際交流基金(JF)等] etc.



【国際日本学科 概要】

学部・学科名称	外国語学部 国際日本学科(仮称)	入学定員	30名
学 費	初年度納入金:123.7万円 ※委託徴収金預かり金は除く (入学金25万円・授業料61万円・施設設備費37.7万円)	学 位	学士(国際日本)
学びの内容・特色	<p>1. 日本を世界に伝える力の獲得 外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語)の実践的運用能力と日本語・日本文化に関する多面的理解を基盤とし、日本文化を的確かつ魅力的に世界へ伝えることができるコミュニケーション力を獲得します。</p> <p>2. 「世界の中の日本」への気づき 留学生や外国人教師と共に「世界の中の日本」を学び、考えることによって、世界と共に生きる姿勢を身につけます。</p> <p>3. 実践的な日本語教育能力の獲得 日本語教員養成課程(登録申請中)との併修により、国家資格「登録日本語教員」の取得を目指し、国内外で活躍できる日本語教員を目指します。</p> <p>4. 留学プログラム等による実践的な異文化対応力の強化 世界の国際交流協定大学への留学・短期研修、国内外でのフィールドワークやインターンシップを通じて、「世界の中の日本」を体験的に学び、異文化対応力および日本文化を世界に伝える力を強化します。</p>		
設置の理念	<p>現代社会において、グローバルな視点から日本を理解し、世界と日本をつなぐことができる人材の育成は、非常に重要な課題となっています。国際日本学科は、「世界の中の日本」という視点から日本の言語や文化を深く学ぶとともに、外国語の運用能力を活かして、それらを多文化共生社会の実現に向けて活用できる力を育むことを目的としています。</p>		
養成する人材像	<p>○日本と世界をつなぐコミュニケーター 日本語および外国語の運用能力を活かし、日本の文化や社会について、的確かつ魅力的に世界へ発信できる発信力と異文化理解力を備えた人材</p> <p>○多文化共生社会の担い手 多様な背景を持つ人々と協働し、異文化間の対話を通じて共生のあり方を模索し、課題の解決に貢献できる柔軟な思考力と共感力を有する人材</p> <p>○グローバル社会における実践者 外国語および日本語・日本文化に関する知識と異文化対応能力を活かし、観光・ホスピタリティ、国際ビジネスなどの現場において、異文化間で生じる課題を発見し、解決に導くことができる実践的能力を備えた人材</p> <p>○日本語教育の専門人材 国内外における日本語教育に携わるための専門的な知識と教育実践力を備え、多様な学習者に対応できる日本語教員として活躍できる人材</p>		
アドミッションポリシー	<p>設置の理念に基づき以下のような資質・意欲を備えた学生を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語、日本文化、日本社会について深い関心をもち、それを国内外に伝えたいという意欲をもつ人 ・ 外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語)の学習に積極的に取り組み、国際的な視野を広げようとする人 ・ 多文化共生に関心をもち、異なる文化や価値観を尊重しながら他者と協働できる人 ・ 将来的に、日本語教員や国際交流、地域の多文化共生、観光、メディア、文化発信などの分野で活躍したいと考える人 		
取得できる資格	登録日本語教員(登録実践研修機関・登録日本語教員養成機関申請中)		
卒業後の進路	観光プロモーション担当、地域資源開発・企画担当、インバウンド戦略担当、地方自治体職員、国際交流多文化共生担当、日本語教師、地域日本語教育コーディネーター、ツアープランナー、客室乗務員(CA)、グランドスタッフ、ホテルコンシェルジュ		
類似大学学部・学科	長崎大学 多文化社会学部共生文化コース／西南学院大学 国際文化学部国際文化学科 九州産業大学 国際文化学部日本文化学科／活水女子大学 国際文化学部国際文化学科		

※設置される学科等の名称・内容などは予定につき、変更される場合があります。

